



スキー協通信

東京都勤労者スキー協議会

〒170-0013 東京都豊島区東池袋2-39-2大住ビル4F 03(3971)4144
ホームページ: <http://www.tokyoskikyo.org/> E-mail: info@tokyoskikyo.org

No.388

発行

2016.11.1

発行責任者・出崎福男



奥多摩 “タワ尾根”の秋

秋、クラブ行事で読図山行を行った。奥多摩、日原川の支流、孫惣谷の左岸の林道から地図とコンパスを頼りにタワ尾根への斜面を登り、ウトウの頭(1588m)まで歩いた。

木の幹に新しい熊の爪痕を見つけて緊張することもあったが、小春日和の静かな尾根は紅葉がとても綺麗だった(2014年10月末)。

(こなゆき・高橋)

フラスノー講習会(丸沼高原)

2016/10/1-2

今年のフラスノー講習会は小川洋コーチのもと、丸沼高原スキー場で5名の参加で行われました。スキー協伝家の宝刀、ベーシックパラレルターンを再確認。パラレルで重心移動をするため内脚主導からの両脚同時切り替え、積極的に自分から外力を作り出す力強いパラレルターンへ。また斜度の違いによって外力を求めるアプローチの違いなどをみっちり行いました。一人ひとり課題を与えられ、またそれをみんなで検証し、意見や疑問を言い合い、時々コーチにも突っ込みを入れながらの楽しいレッスンになりました。フラスノー初挑戦の参加者も半日ほどでマットの感覚をつかんでいました。(豊島SC・長谷川)



談笑しながらのレッスン

目次

フラスノー講習会報告/リレーエッセイ「雪紋」/指導員ミーティング報告	1・2頁
第3回理事会報告/スキー保険に加入しましょう!	3頁
2016 スキーセミナー報告	4・5頁
連載「私たちはこんなクラブです!」第18回	6頁
山スキー関係のご案内/テクニカルフェスタご案内	7頁
11・12月のカレンダー	7・8頁

TPP で揺れるアメリカ、 前のめりのアベ政権

東京スキー協 副会長 海野 茂

リレーエッセイ 雪紋

今の臨時国会で審議されているTPP（環太平洋経済連携協定）問題は、太平洋を囲む12カ国が、貿易に課税される関税を撤廃して自由化を押し進めて、経済連携を促進しようという協定です。

アメリカではオバマ大統領が推進しようとしています。次期アメリカ大統領候補の民主党クリントン、共和党トランプも「米国民に多大な損害を与える」と反対を表明し、アメリカは揺れているというヤバイ協定です。自由貿易で多大な利益を得るのは、主にアメリカの多国籍企業であり、日本もアメリカの国民も大きな被害を受けるという代物です。

数年前アベ政権は「TPP反対」と言っていました。今はアベ首相自らTPPに前のめりにな

っています。臨時国会に提出したTPP交渉の内容は黒く墨で塗られた文書で、TPPの真相は隠されたままです。

今明らかになっていることは、TPPに参加することによって、関税の撤廃によりアメリカなどから安い農作物（特に米）が流入し、日本の農業に壊滅的なダメージを与えます。また食品添加物・遺伝子組み換え食品・残留農薬などの規制緩和により、食の安全が脅かされます。医療保険の自由化・混合診療の解禁により、日本の皆国保制度が破壊されことは明白であり、まさにTPPは日本国民にとって「百害あって一利なし」です。

今こそTPPもアベ政権も葬り去るために、国民的な運動が求められているのです。

指導力のレベルアップのために初の試み、第1回指導員ミーティング開催

10/22（土）13時から16時過ぎまで、大田区蒲田の消費者生活センターで教育技術局主催の初の試み「第1回指導員ミーティング」が開催され、指導員15名が集まりました。

このミーティングは、『「指導するってどういうこと？」をみんなで考え、「指導上の悩みや疑問、指導上の工夫」をざっくばらんに経験交流する場』という位置づけです。

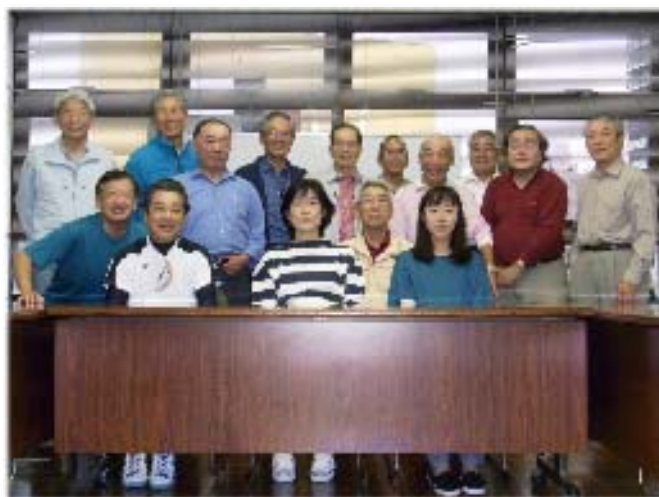
「生徒さんの滑りを観て、その方の滑りのどこが弱いのかを見つけ、その原因を考え、滑りを変えていくための方法を具体的に提示/レッスンし、生徒さんの滑りを変えてこそ指導員ではないか」という

問題提起がお手製の「指導を考えるDVD」を使って福島教育技術局長から行われ、それを使ってのケーススタディー（事例研究）を全員で行いました。後半は「指導上の悩みや疑問、指導上の工夫」を伊藤（正）常任理事の司会のもと、ざっくばらんに参加者全員でフリーディスカッションしました。

積極的な議論で予定されていた3時間はあっという間。満足感あふれる笑顔の集合写真がそのことを物語っていますね。引き続き第2部でも熱い議論が継続されたことを言うまでもありません！ シーズン前の有意義な場となりました。

このミーティングは教育技術局方針の1つである「指導員の指導力量向上のために、経験年数の少ない指導員を主な対象とした講座を設けます」の具体化。「経験年数の少ない指導員」の参加者が少ないことは残念でしたが、そういう方々に直接呼びかけて、来春にもまた行くことを検討することになっています。

指導員がんばっているよ！ ということ、皆さん知っておいてくださいね！！（福島）



理事会報告

第3回理事会 2016.10.13 (木)

第3回理事会が、東池袋第四区民集会室において開催されました。報告・討議議案として①理事の補充、②主な日程、③会費納入・会員登録・公認資格者登録の状況、④平和駅伝&クラブ交流バーベキュー、⑤東京スキー協主催行事（4大行事）、⑥苗場スキースクールからの修学旅行等の講師派遣依頼、が報告提案されました。（出席 17 人／37 人）

①理事補充の確認

浜津良輔さん（プレアデス）の理事補充を確認、承認しました。

②主な日程について

年内の東京、関東ブロックの行事及び全国スキー協理事会と中央研修会の日程を確認しました。

③会費納入・会員登録・公認資格者登録の状況について

9月30日現在の会費納入数が458(第49回総会時593)、9月27日現在の会員名簿による会員登録数357(第49回総会時569)とまだ少ないこと、10月6日までに追加提出された会員名簿を加えても430

程度と見込まれることが報告され、会員の権利・利益を守る上で9月20日の締切を守ってほしいと指摘されました。理事から指導員登録をのなかで研修終了についての間違いがみつかったことが報告され、教育技術局が調査、全国スキー協に修正報告し了承された旨報告されました。

④平和駅伝&クラブ交流バーベキューについて

参加募集チラシ(9月末クラブへ郵送済)を理事会でも配布し参加を呼びかけました。

⑤東京スキー協主催行事（4大行事）について

越年ファミリースキーについて9月通信で志賀高原と発表したものが、バス見積をうけ参加費積算したところ志賀は初日半泊するため宿泊費が高くなり岩手・秋田方面のバス代との差が相殺されてしまうことが報告され、リフト券パック宿泊費が志賀の宿泊費とほぼ同じ田沢湖(秋田県)に変更したい旨報告され、検討のうえ承認されました。

⑥苗場スキースクールからの修学旅行等の講師派遣依頼について

正式の依頼が市川会長宛て届き、常任理事会で検討した結果、スキー協を窓口とした「派遣」は行わないが、指導員に講師依頼がある旨を紹介し、市川会長が連絡窓口となることとした旨を報告しました。

全国スキー協の「傷害・救出基金」「損害賠償保険」に加入しましょう！

=== 総務局よりご案内 ===

安心してスキーを楽しむために、保険に入っていますか？ 3つの保険を紹介します。

『対人・対物賠償責任保険』--- 他の人に怪我をさせた、人の物を壊してしまった、そんなときの備えに。

保険期間は2016年12月1日から2019年11月30日までの3年間、掛け金は5,000円です。最高1億円の保障で、同居家族全員が対象になるファミリー保険です。

『傷害基金』---先着800名まで申し込みを受付中です。掛け金は1年間でおとな600円、子供・障害者400円（1年会員）と3年間でおとな1,500円、子供・障害者1,000円（3年会員）の2種類です。給付は入院の際は1日2,000円（30日限度）、通院の際は1日1,000円（20日限度）、入院費以外に5,000円～70,000円の範囲で見舞金が支給されます。

『搜索・救出基金』--- 山スキーやハイキングでの事故に対する搜索・救出費用や、怪我に対する見舞金が保障されます。保険期間は11月1日から翌10月30日までの1年間、掛け金は最低3,000円から1,000円単位で最高1万円までです。毎年継続契約となっており、1年目は掛け金の200倍、1年経過で300倍限度の保障です。行事ごとの一時加入もできます。

事故・怪我は他人事ではありません。万が一に備え、加入をおすすめします。

※お申し込みは11月15日までに入金および申込書必着です。

※加入はクラブ単位でお願いします。（クラブ単位が難しい場合は個人でも受付ます）

※ 詳細は全国スキー協のホームページをご覧ください。

<http://www.mm.jp.or.jp/wsaj/hoken/hoken.html>

2016 スキーセミナー

～スキー協の現在と未来を考えたひと時～

9月24日(土)の午後、豊島区立生活産業プラザにて東京スキー協主催の2016 スキーセミナーが開催され、62名の会員(講師含む)が参加し、3名の講師の方からのお話しに耳を傾けました。

最初に、東京スキー協副会長(教育技術局長)の福島明さんから「指導員の役割・権利・義務、指導とは、安全について」をテーマに、ここ数年の指導員研修率の向上について概況報告があり「今後は質的な向上も必要なのは」と問題提起がありました。「質的向上」とは、指導内容を向上させることー受講者の課題を見つけ滑りを変えてこそ指導員ではないかという提起です。



次は、「教程改訂の方向性と進捗状況」をテーマに全国スキー協技術教育局長の荻原正治さんの講演。全国スキー協スキー教程の歴史からひも解いて、教程改訂に向けてのアンケート結果、今年2回開催された教程制作委員会での論議内容について話されました。全国スキー協はこれまで4つの教程を作ってきましたが、教程で一貫して継承され求められている技術は、パラレルターンをいかに早く習得してもらうかで、遠回りをしない指導法とも言えます。

全国にむけて行った教程改訂についてのアンケート結果の特徴として、できるだけ早い全面改訂の意見が12%、できるだけ早い一部改訂の意見が54%、教程に追加してほしい内容として一番多かったのが「初心・初級者のプルークスタンスを含むカリキュラム」で、「体軸の傾き、重心移動を基本とした今の教程の考え方は踏襲すべき」という意見が多かったのも特徴です。

制作委員会での、教程の技術目標の議論では、「体軸の傾きをどれだけ傾けられるかがスキーヤーのレベル」の目安だとして、「技術が未熟な段階では、ターンをやめ斜面に立った最も安心できる姿勢に戻して、ポジションを整えて次のターンに入ることが大切。それができたら、徐々に斜面に対して直角の方向に立てるようにしていければよい。」という方向の考え方が出されました。スキー教程の位置づけとして、議論の末、教程書は「指導員向けの理論書」とすることとなりました。

カリキュラムについて、①初めてのパラレルターンの導入部分をもっと分厚くする ②体軸の傾け方、戻し方を分かりやすく解説する、などが提案され、ターン構成については、昨年制作した教程制作ビデオ「ベーシックパラレルターンを再検証」で紹介した「ターンゾーン」と「切り替えゾーン」の考え方を取り入れることが確認されています。パラレルターンの定義を「パラレルターンは全てパラレルスタンスで滑る技術という考えもあるが、切り替えの方法がパラレルスタンスでの同時切り替えをパラレルターンとする」という方向も決まりました。このほか、様々な技術面での議論が紹介されました。



最後の講演は、株式会社クレブの岸野悦雄会長から「スキー業界の現状とスキー協に期待すること」です。岸野会長が30年以上前に創業した株式会社クレブは、スキー場向け卸売り業のパイオニアで、現在日本国内の主なスキー場の多くでレンタル業などを展開しています。また、以前からスキー選手などの応援にも力を入れています。

先シーズンの雪不足でスキーメーカー業界の状

況は現在最悪のなか、スキーの小売店が選手の応援を始めているのが最近の特徴とのお話もありました。

また株式会社クレブは、人と違うことをやっている例として、特許があります。初心者用のレンタルスキーの設計—ボーゲンしてしまう初心者のためにズレやすいスキーや、子どもたちのためのアプレスキーのメソッドに対応したスキー、スキーグローブ、スノーボードのストッパーなどが紹介されました。

スキー協に期待することとして、①人間が最も操作しやすい、健康にいいスキー用具をあらたに開発してほしい。②選手たちを育ててほしい。援助・

応援をしてほしい。③スキー協が組織するスキースクール。の3点を提案頂きました。（出崎）



アンケートからいくつかご紹介します

「指導員の役割・権利・義務、指導とは、安全について」にたいして

- ・指導員のあり方として「量」から質へは、いい方向だと思います。また指導員として、高齢者と子どもたちへの指導もどう行うかも研修会などで広げてはどうですか（高島平 SC、鈴木肇）
- ・指導員の質をあげる取り組みが大切と思う。教室数、指導日数、内容、指導した人数等々を調べる必要があると思う。（三多摩山スキー、勝亦勇一）
- ・スキー協の指導員の役割について、クラブの存在・存続のために動かななくてはと思います。60才以上のスキーヤーの安全なすべりを伝えていきたいです。（中野 SNOW、川上咲子）

「教程改訂の方向性と進捗状況」にたいして

- ・改訂するために努力しているのがよく分かった。私はその応援のために思っていること、疑問をどんどん委員会に発信すべきだと思った。（こなゆき、杉村雄一）
- ・今回の改訂は部分改訂で、パラレルターンをいかに早く習得していくかにポイントをしばったものとの説明に納得。完成を期待しています。（プレアデス SC、北山光治）
- ・教程は、やっぱり切替の違いが勝負なんだね。でも、ターンゾーンの操作はどうでもいいとは思えないし、すべての指導員が外足荷重は大切なのはあたり前と思っているとは思えない。教程にスキーの基本の「き」は入れた方がいいのでは。見解の違いでしょうか？（スラローム SC、高橋勝美）

「スキー業界の現状とスキー協に期待すること」にたいして

- ・大変おもしろかった。こういう視点からの話は今までなかった。いろんなアイデアが出てくるものだな。たいしたものだ。（モルゲンローテ SC、小柳光雄）
- ・すごい社長ですね。仕事は元よりスキーの道具その他子どもたちのスキー、選手を育てることは大変すばらしい、感動した。すごく楽しかったです。もっと自分らも考えていかないといけないと思う。スキー協に対する意見は最高！！（クラブ名、氏名記載なし）
- ・店の理想が素晴らしい。日本にこんなお店があるのが誇らしい。若手の応援活動は良いこと。引き続きオリンピックのメダルを目指して頂きたい。（シュプール、森島宏）

※クレブ・岸野さんより「日本スキー100年誌」（2013年6月発行）を3冊頂きました。事務所内で閲覧できるようにし、1冊は応募者から抽選でプレゼントいたします。今後の通信で応募方法をお知らせします。

山スキー関係のご案内

雪山を滑る快感。それを味わうためには自然を相手にする事前の知識が必要なことはいうまでもありません。

どうしたら安全な山スキーが楽しめるのか、基礎的な知識を身につけておくことは大事なことです。山スキーをこれから始める人から経験者まで、どなたでも参加できます。

1) 11月11日 (19時～)

山スキーの集い【豊島区生活産業プラザ】 (東京通信387号参照)

2) 11月27日 (10時～17時)

山スキー基礎講座 (兼 関東山スキーリーダー養成講座)

場 所: 渋谷区立勤労福祉会館 第4洋室

定 員: 20人

資料代: 2700円 (テキストを含む) 会員割引あり

内 容

- ・山スキーリーダー論
- ・読図
- ・気象・積雪

教科書 山スキーリーダー養成学校テキスト

3) 12月10日～11日

指導員研修会 山スキーリーダー研修会 レベルアップ教室 テレマーク講習会

(指導員研修会は、理論研修及び応用研修扱いになります。)

場 所: 志賀高原 横手山スキー場とその周辺

参加費: 19,000円 (研修会、教室、講習会共)

1泊2食、スポ連傷害見舞・諸経費

宿 舎: 志賀高原ロッヂ

申込み: 11/30(水)までに全国スキー協山スキー部へ(FAX・メール・〒で)。

主 催: 全国スキー協山スキー部 (TEL03-3971-4145 FAX03-3986-5403)

2016 テクニカルフェスタのご案内 2016/12/16-18 (金～日)

今シーズンは、テクニカルフェスタに初登場の若手指導員登場でますます盛り上げていきます!

3日間フル参加でなくとも参加できます。**締め切りは12月1日(木)**

クラブで、友達同士で、家族でぜひご参加ください。

詳しくはHP、通信やスキーリーダーに同封の案内をご覧ください。

「私たちはこんなクラブです！」

Question

豊島スキークラブ

Answer

- ① クラブは創立何周年、会員は何人ですか。
- ② クラブの自慢できることをひとつ教えてください。
- ③ クラブ運営を成功させる秘訣はなんだと思いますか？
- ④ あなたのクラブを一言で表現してください。（それはなぜですか）

- ① 1987年9月創立、来年で30周年を迎える。会員20名
- ② スキーシーズンだけでなく、テニス例会、テニス合宿、卓球例会、ハイキングなど**1年を通して活動**していること。テニスだけに参加するクラブ員もいて、テニスクラブに変更したほうがいいと言われている。
- ③ クラブ員の要求を聞き、忘年会を兼ねたクラブ総会、スキーやテニス合宿での交流などで、おおいに**コミュニケーションをとる**こと。
- ④ スキーに行く人は少ないが、ウィスキーをたしなむ人が多いクラブ。**飲みニケーション**が多いから。



テニス合宿にはクラブ内・外から参加。恒例のカラオケ大会。



スキーもときどき(?) やっています。



11・12月カレンダー

11月	東京スキー協	全国スキー協、他	12月	東京スキー協	全国スキー協、他
1日(火)	山スキー委員会		1日(木)	常任理事会	
2日(水)			2日(金)		
3日(木)			3日(土)		中央研修会
4日(金)			4日(日)		〃
5日(土)		全国山スキーリーダー養成座学	5日(月)		(桶谷講師による講習会)
6日(日)			6日(火)	フェスタ実行委員会/山スキー委員会	〃
7日(月)			7日(水)		
8日(火)			8日(木)		
9日(水)			9日(金)		
10日(木)	常任理事会		10日(土)	シーズンいん Camp	関東B初・中級指導員養成実技/山スキーリーダー研修会・指導員講習会
11日(金)	山スキーの集い		11日(日)	〃	
12日(土)		全国理事会	12日(月)		
13日(日)	関東B初・中級指導員養成理論検定	〃	13日(火)	広報局会議	
14日(月)	競技大会実行委員会②		14日(水)		
15日(火)	広報局会議/フェスタ実行委員会		15日(木)		
16日(水)			16日(金)	テクニカルフェスタ	
17日(木)			17日(土)	〃	
18日(金)			18日(日)	〃	
19日(土)			19日(月)		
20日(日)	指導員合格への傾向と対策セミナー1		20日(火)	組織局会議	
21日(月)		常任理事会	21日(水)		
22日(火)			22日(木)		
23日(水)			23日(金)		
24日(木)			24日(土)		
25日(金)			25日(日)		
26日(土)		全国技術部会	26日(月)	通信発送/総務局会議	
27日(日)	山スキー講座	〃	27日(火)		
28日(月)			28日(水)		
29日(火)	通信発送/総務局会議/組織局会議		29日(木)	越年ファミリースキー	
30日(水)	教育技術局会議		30日(金)	↓ (1/2まで)	
			31日(土)	↓	

※10月号において「指導的立場のスキーヤーにおける用具の安全対策講座」の日程に間違いがありました。(正しい日程は10/3)

編集後記 **エビノシッポ**

ぼちぼち雪の便りが聞こえてくるようになりました。平年より早いのかなど。年明けに解散・選挙などという情報も流れていますが、これはこれで受けて立たねば、と云ってスキーはスキー。何日行けますか。今シーズンの降雪は…、昨年のようなことがないように。(長部)